

警告

安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る
この「安全のために」の注意事項をよくお読みください。

定期的に点検する
1年に1度は、ACアダプターのプラグ部とコンセントの間にほりこがたまっていないか、故障したまま使用していないか、などを点検してください。

故障したら使わない
動作がおかしくなったり、ケーブルネットやACアダプターなどが破損しているの気づいたら、すぐに買い上げ店またはソニーサービス窓口 に修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら、煙が出たら

● 電源を切る
● ACアダプターや乾電池を抜く
● ソニーの相談窓口またはお買い上げ店、ソニーサービス窓口 に修理を依頼する

警告表示の意味
取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・漏液・発熱・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがををしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号

注意 火災 感電

行為を禁止する記号

禁止 分解禁止 ぬれ手禁止 接触禁止

行為を示す記号

プラグをコンセントから抜く 指示

危険 下記の注意事項を守らないと**火災・感電・発熱・発火により死亡や大けが**の原因となります。

禁止 付属以外のACアダプターを使わない
家庭用電源で使用するときは、必ず付属のACアダプターを使用してください。破壊や過熱などにより、火災やけが、周囲の汚損の原因となります。

禁止 火の中に入れない
破壊や過熱などにより、火災やけが、周囲の汚損の原因となります。

分解しない
故障や感電の原因となります。内部の点検および修理はソニーの相談窓口またはお買い上げ店、ソニーサービス窓口にご依頼ください。

禁止 火のそばや炎天下などへ放置しない
破壊や過熱などにより、火災やけが、周囲の汚損の原因となります。

警告 下記の注意事項を守らないと**火災・感電・発熱・発火により死亡や大けが**の原因となります。

禁止 内部に水や異物を入れない
火災や感電の危険をさけるために、本機を水のかかる場所や湿気のある場所では使用しないでください。また、本機の上に、例えば火のついたローソクのような、火炎源を置かないでください。

禁止 万一、水や異物が入ったときは、すぐに本体の電源を切り、ACアダプターをコンセントから抜き、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

禁止 本機背面の端子や通風孔に異物を入れない
端子などがショートして、誤動作や故障の原因となることがあります。

接触禁止 雷が鳴りだしたら、ACアダプターに触れない
感電の原因となります。

ぬれ手禁止 めれた手でACアダプターにさわらない
感電の原因となることがあります。

禁止 本体やACアダプターを布類などでおおった状態で使わない
熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。

指示 ACアダプターは抜き差ししやすいコンセントに接続する
本機は容易に手が届くような電源コンセントに接続し、異常が生じた場合は速やかにコンセントから抜いてください。通常、本機の電源を切っただけでは、完全に電源から切り離せません。

注意 下記の注意事項を守らないと**けがを**したり**周辺の家財に損害**を与えたりすることがあります。

禁止 はじめからボリュームを上げすぎない
突然大きな音が出て耳をいためることがあります。ボリュームは徐々に上げましょう。とくに、デジタルオーディオプレーヤーなど、雑音の少ないデジタル機器を聞くときにはご注意ください。

禁止 通電中のACアダプターや製品に長時間ふれない
長時間皮膚がふれたままになっていると、低温やけどの原因になることがあります。

禁止 本機を航空機内で使わない
電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。

禁止 本機を医療機器の近くで使わない
電波が心臓ペースメーカーや医療用電気機器に影響を与えるおそれがあります。消費電車などの混雑した場所や医療機関の屋内では使わないでください。

注意 本機を心臓ペースメーカーの装着部位から22 cm以上離す
電波によりペースメーカーの動作に影響を与えるおそれがあります。

プラグをコンセントから抜く 長時間使用しないときはACアダプターを抜く
長時間使用しないときは、安全のためACアダプターをコンセントから抜いてください。

プラグをコンセントから抜く お手入れの際、ACアダプターを抜く
ACアダプターを差し込んだままお手入れをすると、感電の原因となります。

指示 本機は国内専用です
海外では国によって電圧使用制限があるため、本機を使用した場合、罰せられることがあります。

電池についての安全上のご注意

液漏れ・破裂・発熱・発火・誤飲

による**大けが**や**失明**を避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

本機では以下の電池をお使いいただけます。電池本体上の表示をご確認ください。

乾電池
単3形アルカリ、単3形充電池ニッケル水素

危険 乾電池が液漏れしたとき
乾電池の液が漏れたときは、素手で液をさわらない
液が本体内部に残ることがあるため、ソニーの相談窓口またはソニーサービス窓口にご相談ください。

液が目に入ったときは、失明の原因になることがあるので目をこすらず、すぐに水道水などできれいな水で充分洗い、ただちに医師の治療を受けてください。

液が身体や衣服についたときも、やけどやけがの原因になるので、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症やけがの症状があるときには医師に相談してください。

警告 ● 機器の表示に合わせて＋と－を正しく入れる。
● 充電しない。
● 火の中に入れない。分解、加熱しない。
● コイン、キー、ネックレスなどの金属類と一緒に携帯しない。ショートさせない。
● 液漏れした電池は使わない。
● 使い終わった電池は取りはずす。長時間使用しないときも取りはずす。
● 新しい電池と使用した電池、種類の違う電池を混ぜて使わない。

注意 ● 火のそばや直射日光のあたる場所・炎天下の車中など、高温の場所で使用・保管・放置しない。
● 外装のビニルチューブをはがしたり傷つけたらない。
● 指定された種類以外の電池は使用しない。

使用上のご注意

携帯電話について
● 携帯電話から本機へ音楽を送信しているときに、着信があった場合の携帯電話の動作について、詳しくはお使いの携帯電話の取扱説明書をご覧ください。

安全について
● 付属のACアダプターをお使いになるときは、家庭用電源コンセント(AC100 V)につないでお使いください。

ACアダプターについて
● ACアダプターを抜くときは、コードを引っ張らずに、必ずACアダプターを持って抜いてください。
● ACアダプターを抜き差しする前に電源をお切りください。電源を入れたまま抜き差しすると、誤動作の原因になることがあります。
● 製品の製品には、付属のACアダプター(犠牲性一形プラグ J1E1A規格)をご使用ください。付属以外のACアダプターを使用すると、故障の原因になることがあります。
● 付属のACアダプターは本機専用です。他の機器ではご使用になりません。
● ACアダプターを本機や組み込み式キャビネットなどの狭い場所に設置しないでください。

取り扱いについて
● スピーカーユニット、内蔵アンプ、キャビネットは精密に調整してあります。分解、改造などほししないでください。
● 次のような場所には置かないでください。
－ 直射日光の当たった所、暖房器具の近くなど、温度の高い所
－ 窓を閉め切った自動車内(特に夏季)
－ 風呂場など、湿気の多い所
－ ほこりの多い所、砂地の所
－ 時計、キャッシュカードなどの近く(防磁設計になっていますが、録音済みテープや時計、キャッシュカード、フロッピーディスクなどは、スピーカーの前面に近づけないでください)
● 平らな場所に設置してください。
● 設置条件によっては、覆れたり落下したりすることがあります。貴重品などを近くに置かないでください。

● 持ち運び際、フロッピーディスクやクレジットカードなど磁気の影響を受ける物は、スピーカーシステムの近くに置かないでください。
● キャビネットが汚れたときは、中性洗剤を少し含ませた柔らかい布でふいてください。シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面の仕上げを傷めますので、使わないでください。

その他のご注意
● 他に疑問点や問題点がある場合は、もう一度この取扱説明書をよく読んでから、ソニーの相談窓口またはお買い上げ店にご相談ください。

Bluetooth機器について

機器認定について
本機は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線設備として、認証を受けています。従って、本機を使用するときは無線局の免許は必要ありません。
ただし、以下の事項を行うと法律に罰せられることがあります。
● 本機を分解／改造すること

周波数について
本機は2.4 GHz帯の2.4000 GHzから2.4835 GHzまで使用できますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。

本機の使用上の注意事項
本機の使用周波数は2.4 GHz帯です。この周波数帯では電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体識別用屋内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局等(以下「他の無線局」と略す)が運用されています。
1. 本機を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本機と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに本機の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止(電波の放射を停止)してください。
3. 不明な点その他お困りのことが起きたときは、ソニーの相談窓口までお問い合わせください。ソニーの相談窓口については、本取扱説明書をご覧ください。

2.4 FH1 この無線機器は2.4 GHz帯を使用します。変調方式としてFH-SS変調方式を採用し、干渉距離は10 mです。

Bluetooth®とそのロゴマークは、Bluetooth SIG,INC.の商標で、ソニーはライセンスに基づき使用しています。「おサイフケータイ」は株式会社NTTドコモの登録商標です。
NマークはNFC Forum, Inc.の米国およびその他の国における商標あるいは登録商標です。
AndroidはGoogle Inc.の商標です。
その他、本書に記載されているシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。

規格板は、本機の底面とACアダプターの表面に表示してあります。

Bluetooth 無線技術について

Bluetooth無線技術は、パソコンやデジタルカメラなどのデジタル機器同士で通信を行うための近距離無線技術です。およそ10 m 程度までの距離で通信を行うことができます。
必要に応じて2 つの機器をつなげて使うのが一般的な使い方ですが、1 つの機器に同時に複数の機器をつなげて使うこともあります。
無線技術によってUSB のように機器同士をケーブルでつなぐ必要はなく、また、赤外線技術のように機器同士を向かい合わせたりする必要もありません。例えば片方の機器をかばんやポケットに入れて使うこともできます。
Bluetooth 標準規格は世界中の数千社の会社が賛同している世界標準規格であり、世界中のさまざまなメーカーの製品で採用されています。

Bluetooth 機能の対応バージョンとプロファイル
プロファイルとは、Bluetooth 機器の特性ごとに機能を標準化したものです。本機は下記のBluetooth バージョンとプロファイルに対応しています。
対応Bluetooth バージョン:
Bluetooth 標準規格Ver. 3.0準拠
対応Bluetooth プロファイル:
－ A2DP(Advanced Audio Distribution Profile): 高音質な音楽コンテンツを送受信する。
－ AVRCP(Audio Video Remote Control Profile): 再生、一時停止、停止など、AV機器を操作する。
－ HSP(Headset Profile): 通話／携帯電話を操作する。
－ HFP(Hands-free Profile): ハンズフリーで通話／携帯電話を操作する。

通信有効範囲
見通し距離で約10 m以内で使用してください。以下の状況においては、通信有効範囲が短くなる場合があります。
－ Bluetooth接続している機器の間に人体や金属、壁などの障害物がある場合
－ 無線LANが構築されている場所
－ 電子レンジを使用中の周辺
－ その他電磁波が発生している場所

他機器からの影響
Bluetooth機器と無線LAN(IEEE802.11b/g)は同一周波数帯(2.4 GHz)を使用するため、無線LANを搭載した機器の近辺で使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下、雑音や接続不能の原因になる場合があります。この場合、次の対策を行ってください。
－ 本機とBluetooth機器を接続するときは、無線LANから10 m以上離れたところで行う。
－ 10 m以内で使用する場合は、無線LANの電源を切る。

他機器への影響
Bluetooth機器が発生する電波は、電子医療機器などの動作に影響を与える可能性があります。場合によっては事故が発生させる原因になりますので、次の場所では本機およびBluetooth機器の電源を切ってください。
－ 病院内／電車内／航空機内／ガソリンスタンドなど引火性の危険が発生する場所
－ 自動ドアや火災報知機の近く

ご注意
● Bluetooth 機能を使うには、相手側Bluetooth 機器が本機と同じプロファイルに対応している必要があります。
ただし、同じプロファイルに対応していても、Bluetooth 機器の仕様により機能が異なる場合があります。
● Bluetooth 無線技術の特性により、送信側での音声・音楽再生に比べて、本機側での再生がわずかに遅れます。
● 本機は、Bluetooth無線技術を使用した通信時のセキュリティとして、Bluetooth標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、設定内容等によってセキュリティが充分でない場合があります。Bluetooth無線通信を行う際はご注意ください。
● Bluetooth技術を使用した通信時に情報の漏洩が発生しても、弊社としては一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

● 本機と接続するBluetooth機器は、Bluetooth SIGの定めるBluetooth標準規格に適合し、認証を取得している必要があります。ただし、Bluetooth標準規格に適合していても、Bluetooth機器の特性や仕様によっては、接続できない、操作方法や表示・動作が異なるなどの現象が発生する場合があります。
● 本機と接続するBluetooth機器や通信環境、周囲の状況によっては、雑音が入ったり、音が途切れたりすることがあります。

主な仕様

スピーカー部
使用スピーカー 直径50 mm
エンクロージャー方式 バスレフ型

アンプ部
実用最大出力 2 W + 2 W(全高調波歪率10 %、1 kHz、6 Ω)(J1E1TA*)
入力 ステレオミニジャック×1

Bluetooth
通信方式 Bluetooth 標準規格Ver. 3.0
出力 Bluetooth 標準規格Power Class 2
見通し距離約10 m*
使用周波数帯域 2.4 GHz 帯(2.4000 GHz ~ 2.4835 GHz)
変調方式 FHSS
対応Bluetooth プロファイル*3
A2DP(Advanced Audio Distribution Profile)、AVRCP(Audio Video Remote Control Profile)、HFP(Hands-free Profile)、HSP(Headset Profile)

対応コーデック*4 SBC、SCMS-T 方式
対応コンテンツ保護 有効周波数帯域 20 Hz ~ 20,000 Hz(44.1 kHz サンプリング時)
*1 J1E1TAは(電子情報技術産業協会)の略称です。
*2 通信距離は目安です。周囲環境により通信距離が変わる場合があります。
*3 Bluetoothプロファイルとは、Bluetooth機器の特性ごとに機能を標準化したものです。
*4 音声圧縮変換方式のこと
*5 Subband Codec の略

マイク部
型式 エレクトレットコンデンサ型
指向特性 全指向性
有効周波数帯域 200 Hz ~ 3,600 Hz
許容動作温度 0℃ ~ 45℃

電源部・その他
電源 DC 6 V(付属のACアダプターを接続してAC100 V電源から使用)
単3形アルカリ乾電池4本
6 W(ACアダプター使用時)
約0.2 W(待機時、ACアダプター使用時)
乾電池の持続時間(Bluetooth接続時)
ソニー単3形アルカリ乾電池LR6(SG) 約20時間*6
ソニー単3形充電池ニッケル水素電池(サイクルエナジーゴールド) 約20時間*6
約245 mm × 185 mm × 88 mm (幅／高さ／奥行き)
約1,060 g(乾電池含む)

最大外形寸法
質量
付属品
ACアダプター(1)
取扱説明書(本書)(1)
Bluetooth接続ガイド(1)
保証書(本書に印刷)
*6 周囲の温度や使用状態により、上記の持続時間と異なる場合があります。

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。ご了承ください。

保証書とアフターサービス

保証書
● 本書には、保証書が印刷されています。
● 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
● 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス
調子が悪いときはまずチェックを
この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。
それでも具合の悪いときは
お買い上げ店、またはソニーの相談窓口(下記)にご相談ください。修理をご依頼の際は、付属のACアダプターを本体と一緒に持ちください。

保証期間中の修理は
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。
保証期間経過後の修理は
修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について
当社ではアクティブスピーカーシステムの補修性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後6年間保有しています。ただし、故障の状況その他の事情により、修理に代えて製品交換をする場合がありますのでご了承ください。

モデル名:SRS-BT8M8

よくあるお問い合わせ。窓口受付時間などはホームページをご覧ください。
http://www.sony.jp/support/
使い方の相談窓口 修理相談窓口
フリーダイヤル フリーダイヤル
通話時間 PhS 一部のIP電話 通話時間 PhS 一部のIP電話
0120-333-020 0120-222-330
0466-31-2511 0466-31-2531
※電話番号により通話料がかかります。こちらへお問い合わせください。
FAX (共通) 0120-333-389
上記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に「3 0 9」+「#」を押してください。直接、担当窓口へお越しください。
ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

故障かな?と思ったら

音が出ない、片方の音が出ない、音が小さい

ON 接続先の機器と本機の電源は入っていますか?
ペアリング Bluetooth機器と本機をもう一度ペアリングしてください。
接続先の機器で再生されていますか?
接続コードのプラグはしっかりと差し込まれていますか?

音が割れる、ノイズが出る、音が途切れる

つないだ機器の音量は大きすぎませんか?
テレビから離してください。
HFPやHSPでのBluetooth接続ではなく、A2DPでの接続に切り換えてください。
OPR/BATTランプ(緑色)が暗くになったら、乾電池を4本とも新しいものに交換してください。
ラジオやチューナーを内蔵した機器につなぐと、放送が受信できなかったり、感度が低下することがあります。機器から離してご確認ください。
つないだ機器のイコライザー機能はオフになっていますか?
電子レンジや無線LANなどから離してください。
本機をBluetooth機器に近づけてください。障害物があるに近づくと、感度が低下することがあります。

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。ご了承ください。

保証書とアフターサービス

保証書

● 本書には、保証書が印刷されています。

● 所定事項の記入および記載内容をお確かめのう

え、大切に保存してください。

● 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

1m 本機とBluetooth機器の距離を1 m以内に近づけてください。

0 (Bluetooth) ランプ (青色) が早く点滅していなかったら、本機のBLUETOOTH PAIRINGボタンを、ピー音が聞こえるまで押し続けてください。

保証書とアフターサービス

保証書

● 本書には、保証書が印刷されています。

● 所定事項の記入および記載内容をお確かめのう

え、大切に保存してください。

● 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

ON 接続先の機器と本機の電源は入っていますか?

HFP/HSP Bluetooth機器を操作して接続しなおしてください。プロファイルは、HFPまたはHSPを選んでください。

通話相手の声が聞こえない、声が小さい

接続先の機器と本機の音量は小さすぎませんか?

接続先の機器と本機の電源は入っていますか?

ペアリング Bluetooth機器と本機をもう一度ペアリングしてください。

スマートフォンが振動するまで本機のNマークに近づけたままにして、反応しない場合は、ゆっくり前後左右に動かしてください。

スマートフォンにケースを付けている場合は、ケースをはずしてください。

NFC ON スマートフォンのNFC機能がオンになっているか確認してください。

NFC App NFCの受信感度は、お使いのスマートフォンによって異なります。接続に何度も失敗する場合は、スマートフォンのお手元操作で接続の切断してください。

NFC App おサイフケータイの場合は、「NFC簡単接続」アプリが画面に表示されているか確認してください。